

アメリカで発見した埼玉の魅力

鴨井瑞恵（アメリカ合衆国 イリノイ州）

私は去年の夏からアメリカのイリノイ州にある小さな町に約 1 年間留学をしました。私が育ったさいたま市と私の住んでいた町での生活は大きく異なるものでした。

イリノイ州はアメリカで 3 番目に大きい街とされるシカゴがありますが、私が住んでいた町はシカゴからは車で 5 時間ほどかかる、イリノイ州の南部にある小さな田舎町でした。私の家の周りには一面トウモロコシ畑が広がっていてとてもどかな雰囲気町でした。牧場がたくさんあったり、馬を飼っている人が多かったりと、たくさんの動物にも囲まれています。野生のシカや七面鳥などもたくさん生息していて、私のホストファザーの趣味は狩りなので、よく私も一緒に狩りに連れて行ってもらいました。動物が命を落とす場面を目にしたときは、とても衝撃的で動物に対して申し訳なさを感じましたが、私たちが普段何気なく食べているお肉も、動物たちの命が犠牲になっているということを初めて実感し、感謝して食べなくてはいけないと感じました。このように、私が今まで一度も体験したことのないことを体験し、日々の生活を通してたくさんの学びがありました。

アメリカで 1 年間生活をして、日本とアメリカの違いを多々発見しました。もちろん同じ日本人でも一人一人性格が違うので、一概にいうことはできないとは思いますが、アメリカにはフレンドリーな方とても多いと感じました。例えば、レストランに行くとウェイトレスの方がとてもフレンドリーでウェイトレスの方との会話がはずみます。旅行をしているときはウェイトレスの方が近くのおすすめのお店を教えてくれたり、私たちがどこから来たのかなど興味を持ってたくさん質問をしてくれたりします。日本の接客はアメリカと比べるととても丁寧でとてもすてきだと思いますが、私はアメリカの親しみやすい接客もとてもすてきだと思います。他にも飛行機に乗っているときに、隣の席に座っている乗客と気軽に会話をすることができます。このようにたくさんのフレンドリーなアメリカの方に出会い、自分自身もよりフレンドリーになり、知らない人にも自分から会話を始めることができるようになった気がします。

私はアメリカの学校で歴史の授業を取っていたのですが、その授業でもたくさんの学びがありました。特に興味深かった内容は第二次世界大戦でアメリカ軍によって日本の広島と長崎に原子爆弾が投下されたことです。原子爆弾の被害を受けた日本に生まれ育った私は、幼いころからたくさん戦争でどのようなことが起きたのかを耳にすることが多かったです。しかし、それらはいつも敗戦国である日本の立場によるものでした。もちろん、原子爆弾の投下によって多くの方が亡くなったり被害を受けたりしたので、決して正当化されるべきだとは思いませんが、アメリカで歴史の授業を受け、多角的にこのことについて考えることができるようになったと思います。アメリカの学校では、原子爆弾の投下によって終戦へと向かって、もし原子爆弾を投下していなかったとしたら戦争がさらに長引き、さらに多くの犠牲者を出していたかもしれないというふうに学びました。授業内では本当にアメリカ軍は原子爆弾を投下するべきであったのか否かについてディスカッションを行い

ました。今まで日本で歴史を学んで、日本人としての考え方のみを耳にしてきたのですが、留学中にアメリカ人の考え方を聞き、視野がより広がったと思います。

アメリカに留学している際、アメリカについて学ぶのはもちろんのこと、埼玉県の魅力は何度も再認識し、留学中はホストファミリーや友達に埼玉県の魅力をPRできるように努力しました。私は中学生の時に大宮盆栽美術館でボランティアをする機会をいただき、盆栽についての知識があったので、アメリカのホストファミリーに盆栽に関する本をプレゼントし、盆栽について紹介しました。すると、私のホストファミリーは盆栽にとっても興味をもってくれ、次第に私の住んでいる埼玉県という場所についても度々質問を受けることが多くなりました。私のホストファミリーはグーグルマップなどを使って埼玉県の様子を見るのが好きで、私はよく埼玉県についてグーグルマップを使いながら紹介していました。ホストファミリーは大宮氷川神社や秩父をいつか訪れたいと言っていました。私のホストファミリーは埼玉を訪れるために、パスポートの申請をするための準備を始めたそうです。

ホストファミリーと一緒に「はじめてのおつかい」を見たのですが、ホストファミリーはアメリカでは子供が一人で買い物にでかけるなどありえないと言っていました。確かに、アメリカは日本と比べて治安が悪い場所が多く、子供一人で出かけることは全くありません。日本に住んでいた時は当たり前だと思っていたことが、日本を出てみるとそれが当たり前ではないということに気が付かされました。

この留学を通して、アメリカという国のすばらしさを学んだだけでなく、日本や埼玉県のすばらしさもたくさん発見しました。これからも、ほかの国やほかの国の人と会う機会があれば、埼玉県の魅力を発信していきたいと思います。また、ホストファミリーが埼玉県を訪れる機会があれば、実際に埼玉県を案内したいと思います。

